

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年9月10日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103276
法人名	株式会社 プロGRESS
事業所名	グループホーム 愛愛
所在地	鹿児島市川上町1917-2 (電話) 099-244-8876
自己評価作成日	平成25年9月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年1月17日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成25年8月4日 田園風景残る土地から大通り沿いの都市生活を感じる  
・ 場所に移転をし、10年間1ユニット9名での生活から2ユニット18名の  
大所帯となりました。

移転・増床を機に改めて主治医を含めた関係医療機関と職員として看護師が  
・ 勤務する事で24時間体制の医療連携体制を取っており。日々の生活をより安  
心して送ることができる。

排泄パターンの把握に取り組んでおり、できうる限りおむつやポータブルト  
・ イレなどを利用せず、最後までトイレにて排泄が行えるように支援してい  
る。

当法人代表が地域住民の農園での収穫できるように手配して下さり、職員と  
・ 利用者と地域の方々が協力して収穫、栄養士が中心となって計画を立てなが  
ら育った野菜を使った食事を提供している。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

区画整理が進み、商業施設や住宅が混在する新興住宅地に新築移転して間もない  
グループホームである。真新しい玄関の壁には袖を広げた着物が飾られており、  
来訪者の目を楽しませている。ホームの方針により排泄の自立には特に力を入れ  
ている。排泄チェック表を基にした声掛けや、利用者個々の細かい言動を見極め  
たトイレ誘導により、入居時の状況に比べ自立排泄への改善例が多数ある。管理  
者や職員の質の高いケアが利用者の身体機能の向上に大きな成果をあげている。  
趣味やリハビリを兼ねた午前・午後の余暇活動による利用者の個性豊かな作品か  
らは、利用者としっかり向き合う時間を大切にしている職員の努力が伺われる。  
利用者、家族の思いに寄り添うケアを大切にしており、管理者や職員を目指す  
「人に勧められる施設」をまさに実践している優しさあふれるグループホームで  
ある。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	常に見える場所に理念を掲げて、毎日確認をして共有し、ケアへとつなげている	ホーム独自の理念を作り上げ、管理者は毎朝、職員に対して4つの理念すべてを一度にするのではなく、1つずつを丁寧に成し遂げる事を大事にするように伝えている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事や運営推進会議などの参加呼びかけや地域の行事へ参加することで交流している。	新築移転したばかりで近隣との付き合いはまだ浅いが、町内会長に年間のホーム行事案内を渡し、民生委員を通して地域住民のクリスマス会や避難訓練への参加を得ている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	日常支援を大事にしつつ、地域のかたがたとの交流の中で話し合い、取り組むことができる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に行い、施設内の状況・状態を見ていただき、ご家族の方への強力な呼びかけ。意見交換できている	町内会長、地域住民、行政、家族などの参加を得て2カ月置きに開催されている。家族に対しては利用者の重度化への理解を深めてもらい、認知症に関しての勉強会や避難訓練なども併せて行っている。商店街や駐在所に利用者名前などを配布し、協力の呼びかけもお願いしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市の担当者からの定期的な連絡や地域包括担当者からの電話連絡や入退居情報交換をしている。協力などを頂きながら、取り組んでいる。	更新時やケアプラン作成に関しての相談などの他、事業所の状況報告や感染症情報などを交え双方に良好な関係が構築されている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をしないケアの仕方を話し合い、玄関の施錠ではなく、チャイムをつけたり、職員と利用者とのコミュニケーションを良く取り、安全を確保しつつ自由に近づくケアに取り組んでいる	マニュアルや事例などを参考にした内部研修を行っている。管理者は日常の何気ない言葉使いや声のトーンなど見逃しがちな身体拘束も含めて、常に適切な対応を職員に教育している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員との意見交換の場を多く持ち、変化や状態の早期発見し、対応する事への話し合い。負担が集中しないように、職員の状態にも気をつける		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	月1回のミーティングを利用して学びの場の時間を設けて話し合い、活用支援をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時・料金など分かり易く説明を行い、利用者様やご家族が納得を得た上で、手続きを進めていく。経済的な不安や報酬加算や料金改定の説明・重度化に伴う機器等の負担について話し合う</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>2ヶ月1回。運営推進会議を行い、外部の方への連絡を取り合い、参加して頂き、意見を聞き、記録をしていく事が出来まます。発言を躊躇うご家族の心情を察し、より多くの意見や要望を出してもらうように配慮する</p>	<p>年2回9月の運動会・敬老会、12月のクリスマス会・忘年会への家族の参加は入所時にお願いしてあり、全員参加が恒例になっている。面会時等、家族も遠慮なく意見や要望が出来る信頼関係が出来ている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>事業所の運営や大事な事に関して、利用者の状況や実情を直に知っている職員の意見を十分に聞き、又は代表者・管理者で運営や管理について職員の声に耳を傾けて活かしている</p>	<p>管理者は職員が気付いたことや意見は上下の関係なく何でも話せる関係作りに努めている。月1回のユニットごとのミーティングを行い双方での利用者情報も共有できている。午前・午後と余暇活動の時間を設け塗り絵や、習字など利用者の多彩な作品が壁を賑わせている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>運営者は管理者や職員の日々の努力や具体的な実情・勤務状態などを把握し、職員処遇へ反映や向上心を持って働けるように配慮をしている</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員育成の重要性を認識し、全ての職員が質を向上できるように各自の立場・経験や習得度に応じた学びの機会を計画的に行う研修を共に職員が働きながら技術や知識を身につけて頂く事を支援している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>事業所の質の確保の為に他事業所との交流や連携が不可欠。仕事の悩みの解消や緊急時の連携をスムーズにするなど事業所や地域全体としてのサービス水準の向上につながる地域や同業者ネットワークなどに参加している</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人様と係わる時間を多く作り、今までの生活暦や性格の把握に努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の直接面談して、希望や要望を受け止めて協力していく関係作りに努める。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>見学やお試し体験などでの面談やケアを通じて出来るサービスを模索し、利用を提供できるように努めている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者様に対して常に尊敬の念を忘れず、接するように努めている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族の支えを忘れず、面会や電話連絡や愛愛だよりなど情報交換に努める</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>利用者様の会話に耳を傾けて面会や外出の要望に支援できるように努める</p>	<p>地元利用者が多いユニットでは友人、知人の訪問が多い。馴染みの美容師による訪問美容を利用している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者それぞれの個性を見極め孤立しないようにサポートしていく</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退居後も状況経過などを把握したり季節ごとのお便りを出したりし、面会や相談などの支援に努める</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様が人らしく、暮らしていけるよう職員意見を出し合い話し合い検討している	発語が難しい利用に対しては身振りや筆談等で思いを汲み取り、常に表情や所作を読み取ることで個々の思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	自分らしく暮らしていく支援するため利用者様のこれまでの生活歴・プライバシーに配慮し、職員・本人のご家族様など良い関係を保つように暮らしを支えていけるように努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの健康状態を見て何が出来るか出来ないのか判断をし楽しく一日を過ごして頂けるように努め、対応している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人をよく知るご家族様からの要望、ご本人の状況、変化を確認し合い介護計画を立てている	週二回の往診時に状態の変化や服薬に関してきめ細やかな指示を主治医より受けている。利用者や家族の意見や要望を最大限に考慮し現状に即した介護計画になっている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一日一日の個別記録を作成し、記録を確認している。月に一度職員会議で話し合い、見直しがあれば実践し、確認し合っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人の人を支えていく為には、その時に応じて支援している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域包括支援センター・民生委員・ボランティア・理美容室・病院・保育園・消防等の関わりを大切にしております。豊かな暮らしを楽しむように支援しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医がいるが、他の病院等への受診ができるように支援している。また、医療連携体制の関連から主治医に報告・相談も行っている。	週2回主治医の往診もあるが、利用者や家族が希望するかかりつけ医への支援もしている。必要があれば、職員が同行し受診の結果については家族と共有できている。ヒヤリハットも詳細に記録され、ミーティング時に検討会を開き再発防止に向け取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>早期段階での状態異変に気づくのがスタッフの仕事であり、医療機関との連絡は適切に行われているが、急変時などは幹部職員等で対応もしている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>主治医や他の医療機関との連携を図り、重篤にならないように努めている。情報交換を行いながらご本人のストレスが軽減できるように支援する</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>主治医、ご家族を含めてのターミナルケアについて説明の場を設けている。職員は看護職員を中心に研修を行い、対応できるようにすると共に、地域の医療機関などで支援できるように体制づくりを行っている。</p>	<p>前回の評価を踏まえ、看取りの指針を明確に文章化し家族の同意も得ている。医師の判断の下、家族支援や訪問看護を利用しながら見取が出来るように新築移転時に応接室を設け。看取りの部屋として使用する用意もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年間の職員研修内容で、急変時等の対応について勉強を行っている。また実際に急変等が発生した後に反省会や報告会を開催して、状況確認を行い、次へとつなげている</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>長崎でのクレンジングが被災があり、直後に勉強会も設け、安全確認を行った。町内会の参加を頂きながら、消防訓練等を行っている。また鹿児島市が新しく作成したマニュアルも活用している</p>	<p>夜間想定を含め近隣住民にも呼びかけをし、年2回訓練を行っている。水消火器の使い方や運営推進会議に救急救命士の参加をもらっている。備蓄は同系列のデバイスに一括保管されており、すぐに取りに行ける距離にある。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の尊厳と権利を守る為の研修などを開催し、日常業務での対応について全職員が各自気をつけながらケアを行っている。	利用者個々の性格や様子を観察することで理解を深め、常に敬う気持ちを基本と考えたケアに努めている。名前の呼び名も利用者に合わせて、名前や苗字で呼ぶなど尊厳に配慮し家族の同意も得られている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の意思や訴えに対応できるように業務やケアの状況を見ながら行っている。また、職員は発語困難者に対しては、2択の聞き方にするなど工夫して対応している		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	愛愛として基本的な一日の流れはあるものの、利用者様の流れも大切にしながら無理なく基本的な流れに合流できるようにケアを行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身だしなみなどはご本人様の気持ちなどを確認しながら行っている。また、着替えもたくさんの中から選ぶの事もできるように支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行事などで外食したり、食に関しては、栄養士の資格者が献立・調理を行い、利用者様の栄養管理を行いながら、庭で取れた野菜などの皮むきなどお手伝いいただきながら支援している	ホームの行事としてソーメン流しやファミリーレストランに出掛けたり、家族と寿司屋に行く利用者もいる。食前や、おやつ前の水分補給を重んじ、食事時間の早い利用者に対しては2,3度に分けて時間差で出すなど細やかな食の提供の工夫が感じられる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や栄養バランスはもちろんの事、特に水分量を摂取出来るように、個人個人皆様に支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアに一对一で付添って見守り・半介助・全介助など個々に合わせてケアを行っている。また1週間に一回訪問歯科があり、定期的に口腔内の確認を行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間を決めてトイレ誘導や声かけを行って排泄を促している。また本人様の排泄パターンは把握しており、定時以外での声かけも行っている。夜間はオムツ交換ではなく、トイレへ誘導をし排泄をして頂けるように努めている	利用者を良く観察し、声掛けの回数やチェック表での時間調整など利用者個々の細かい対応により、ほとんどの利用者が誘導で自立への改善例が多い。管理者や職員の自立排泄への質の高いケアが伺われる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の確認は毎日行っている。便秘の際には緩下剤を使用するが、主治医に相談している。また食事や水分量の確認、日中の運動などで緩下剤を使用しないで排便が出来るように心がけている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ひとりの体調に合わせて、入浴できるように調整している。また、日曜日以外は入浴を実施しているが、希望があれば、日曜日でも実施することは可能である。	基本的に週3回の入浴を支援しているが、個々の身体状況や希望に添って柔軟な対応を心掛けている。特に保湿には気を付けクリームを塗るなど乾燥肌への気配りをしている。個浴にしたことで職員1人対応が可能になった。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午後1時間程度午睡の時間を設け夜間に安眠できる程度に留めている。また夜間も入眠前に温かい飲み物などを提供し、入眠がスムーズに出来る環境づくりをして支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服一覧表や内服変更ノートなどで内容などを確認するほかに、インターネットなどでも確認している。調剤薬局の薬剤師や主治医に聞いたりして確認している。服薬は必ず口腔内に入れて服用確認をしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎食後食器拭き・朝の掃除の際にはモップかけや床の雑巾拭や夕方は洗濯たたみなどのお手伝いをして頂いている。自宅で行っていた生活作業を少しでも思い出して頂きながら個々に合わせた支援を行っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	気温・天気安定した日には、庭やドライブに出かけたりしている。4月のお花見や7月のそうめん流しなどにも出かけている。ご家族との外出率も高い。施設の買物の際には1対1で買い物支援も行っている	家族との外出時に実家に立ち寄ったり、近隣のスーパーなどで買い物を楽しむなど、時季と体調を見ながらホームに閉じこもらない生活を支援している。今後は日帰りの小旅行を試して、それが可能ならば、次は家族同行での1泊旅行の計画も検討している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居時の取決めにより、お金の所持はご遠慮頂いているが、買い物などの外出時には程度な金額内で買い物をして頂いたりしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>年賀状や暑中見舞いなどお手紙を書いて頂いたり、お電話などもご本人様にお渡しして話が出るように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>集団生活の中で環境の大切さを職員は理解するように努めている。居室のカーテンなどで採光の調節をしたりしている。季節感毎月ご利用者様が書かれる絵や書道。職員がレイアウトする飾りつけなどで工夫している</p>	<p>玄関の壁には両ユニットともに着物が飾られている。縦長のリビングは明るく、見守りに配慮して対面キッチンになっている。壁には利用者の塗り絵や書道などが掲示されており、職員の余暇活動への取り組みの成果を感じることができる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居室は勿論の事ですが、ホールで個々に合わせた居場所作りは行っている。畳部屋やソファ・庭に出てベンチでも過ごせるように対応している</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使い慣れた家具や写真などを持ってきて頂く事により、安心して過せる様に環境整備をしている</p>	<p>居室は全て花の名前がつけられており電動ベットと箆筒は常設になっている。家族の写真やお気に入りの飾り物などが持ち込まれ、安心して日常が居心地良く過ごせる様になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレや浴室などには大きな張り紙、居室には花の表札など工夫した環境作りを行っている。また、廊下やトイレ、浴室には手すりを設置し、安全で自立した生活が送れるように工夫している。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない



61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない